

# 和地ひとみレポート No.138

第9回「市長と語ろう会」テーマは「公共交通について」

## 「私たちの『ちょこバス』」という協働の視点が必要

### ■ちょこバスの新しいルートについて

…11月12日19:00～と15日13:00～、市役所の会議棟にて、第9回「市長と語ろう会」(タウンミーティング)が開催されました。今回のテーマは「公共交通について」。ちょこバスのルートが新しくなることを中心に東大和市内の公共交通の状況などについて取り上げられました。私も2回の会のうち最初の12日に参加し、市側の考えや参加者の意見を確認しました。

…ちょこバスのルートの変更については、このレポートでも大まかな案については取り上げてきましたが、今回は、具体的なバス停が市の地図上で示されたものも配布されました。東大和市内には西武鉄道、多摩モノレール、西武バス、都バス、立川バスといった公共交通がありますが、新しいルートではそれを補うような2ルートが設定されています。

1つ目のルートは『循環ルート』とされ、市役所、上北台駅、芝中団地、湖畔、武蔵大和駅などを通り、市役所に戻るように循環。2つ目のルートは『往復ルート』とされ、玉川上水駅、南街(イトーヨーカドーさんの前)、市役所、東大和市駅を行ったり来たりするルートです。

…このルートは、平成15年にちょこバスがスタートした際のルートに、課題であった駅への乗り入れを解決したルートをプラスしたものと説明がありました。ちなみに運賃は¥180(路線バスの初乗り運賃と同額)に値上がりしますが、市役所での乗り継ぎについては1回までは無料(下記参照)。また、各バス停の時刻表については、1時間に1本、毎時同じ時刻表になるようにするようです。(例:Aバス停の時刻表なら、毎時24分に来る)。平成21年に変更された現在のルートはわかりづらい、不便という声が多くありましたが、この変更でだいぶ使いやすくなると思います。

#### 【ルート変更後の乗車例】

※( )の番号はバス停No.

(16) 湖畔集会所 9:46 発(循環:内回り) ⇒  
(0) 市役所 10:09 着 〈市役所にて乗り継ぎ〉  
(0) 市役所 10:17 発(往復:東大和市行き) ⇒  
(48) 東大和市駅 10:27 着 【運賃¥180】

(16) 湖畔集会所 9:14 発(循環:外回り) ⇒  
(0) 市役所 9:42 着 〈市役所にて乗り継ぎ〉  
(0) 市役所 9:52 発(往復:玉川上水駅行き)  
(44) 玉川上水駅 10:03 着 【運賃¥180】

ちなみに、今回のルート変更で設置されるバス停の数は48箇所。現在、関係機関と市は調整中で、遅くとも今年度中には変更ルートでの運行を開始したいと考えているようです。



### ■赤字という問題は

…会の最初に市長から「今後の高齢化社会を考えると地域の公共交通は絶対に必要なものだと考えている。東大和市はコンパクトな町だが、多摩湖、空堀川、市内の中心部の緑道、野火止用水など散策路となるところもある。南北に幹線道路もあるので、それらを上手くつないで住みやすい魅力ある町にしたい」との話があった一方で「ちょこバスの利便性を高めるためには最低でも30分に1本としたいが、利用者をもっと増やせるかが課題。お金をもっと市が投入すれば良いということかもしれないが、そんなに予算をつぎ込めない。だから、市民のみなさんからも利用者を増やすアイデアや意見が欲しいし、ちょこバスを育てるのは市民の皆さんだ」との課題の提示もありました。

…現在、ちょこバスには市から毎年約4,000万円が投入されています。これはちょこバスが運賃だけでは賄えないためです。

今回参加された市民の方からも「ルートを変更したら赤字は減るのか」という質問が出ましたが、ルートを2ルートとすることで、赤字は今まで以上に増えるとの推計が出ているとの回答でした。

### ■協働という視点

…そこで、他の市民の方からは「市長が言うように『ちょこバスは自分たちのバス』という協働の意識が必要だが、市からは何人利用すれば赤字にならないという数字が示されていない」との声も。

確かに、目標値が示されなければ検証できません。…今回の会では、小平市が実証実験で運行している「コミュニティタクシー」のことも紹介されました。小平市もちょこバスと同じように『にじバス』というコミュニティバスを運行していますが、この「コミュニティタクシー」は、市内を青梅街道と西武多摩湖線の線路で4分割し、それぞれの地域の中で『にじバス』が通らない(もしくは道路幅員の関係で通れない)エリアを循環し、(裏面につづく)



公共交通につなぐために走らせています。使用している車両は10人乗りのワンボックスカーで、実際の運行は地域のタクシー会社です。小平市では市民、地元の商店や企業の事業主など様々な人がメンバーとなって、乗車状況

を検証する場が毎月持たれており、その月の目標乗客数に到達したかどうかを検証し「あのバス停は利用が少ないからこちらに移してはどうか」など、実際の現場の声を運行に活かす取り組みがされているとのこと、参加された市民の方から発表されました。そして、東大和市も地域公共交通会議だけではなく、同じように目標値を市民に示し、実際の利用者である市民が検証できる仕組み、赤字は私たちの税金なんだという意識が持てるような仕組みを作るべきではないかとのご意見も出されていました。

…今回のちょこバスのルート変更後、東大和市にも芋窪、湖畔、高木、仲原に公共交通機関の空白地帯ができます。(市はバス停や駅から200m以上離れているところを空白地帯と位置づけている) この空白地帯について、コミュニティータクシーを走らせるなどの話ほどのくらい進んでいるのかという質問に対しては「湖畔では生活の足を便利にしたいという検討が進んでいるという話は聞いているが、そのほかの芋窪、高木ではそういう動きがあるということは聞いていない。ちょこバスのルートが変わることをきっかけとして、そういうことを皆さんと市で一緒に考えていきましょうと地域に投げかけていきたい」との回答でした。

## ■点を結び広げるタテヨコの繋がり

…今回のテーマは「公共交通について」でしたが、会の中では協働について意見交換をする時間が多くありました。その中で市長からは「市長になった当初、市民との協働を推し進めたいと思っていたが、市民から『俺たちにやらせるのか』といったような意見も多く聞かれた。市民も色々な考えの方がいるから一概には言えないが、時期尚早なのではないかと思ひ、一旦、市民協働は引込めた。協働は市民と行政が対立して行うものではないからだ。しかし、現在は市民の生活から出てきた様々な活動の芽がたくさんある」との話もありました。また「公民館活動や郷土博物館のイベントなど、それぞれは工夫をして様々な活動をしているが、それぞれが『点』で、つながりや広がりが出てこないのが課題だと思っている。」という課題意識は参加された市民の方と市長との共通認識でした。市長は様々なことの繋がりのためにもちょこバスを活用したいという抱負もあるようです。

…参加した方からは「協働は行政が主導だと、市民の中に『市にやらされている』という気持ちが出て、上手いかなないと市長は考えているようだが、小さな市民の活動を繋げ、広げていくためには、やはり行政がその仕組みを作らないと進まないのではないか」との意見も出されました。

…『繋ぐ』という点では、市民からの意見も必要ですが、市役所内でも観光を担当している課、老人介護を担当している課などとも意見交換をして「より良いちょこバスになるよう」連携も進めて欲しいとの意見も。ルート変更後も利便性、赤字額、乗客増員の工夫についてなどの検証を継続的に行うことが「市民に愛されるちょこバス」になる第一歩だと思いました。

## 家庭廃棄物有料化での減量効果について市が発表

10月からスタートした「家庭廃棄物有料化」に伴う廃棄物量について、11月10日付けで市から速報値が出ました。今後は、ホームページ等でも発表していくとのこと。



種別	平成26年10月(今年)	平成25年10月(昨年)	前年同月比
可燃ゴミ	1,174,010kg	1,381,130kg	△207,120kg (△15.0%)
不燃ゴミ	36,490kg	89,820kg	△53,330kg (△59.4%)
容器包装プラスチック	82,820kg	86,200kg	△3,380kg (△3.9%)

### 市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

## 「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>  
 ✉ wachi\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546  
 〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102